加津佐小学校　学校だよりNo.62

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年11月30日　校長：山下泰樹

「寝る子は育つ！」　～３年ぶりに学校保健委員会開催～

コロナ禍で２年間見送ってきた学校保健委員会を11/15に開催しました。

学校保健委員会とは「学校における健康の問題を協議し健康づくりを推進する組織」です。PTA副会長の福田美佐子さんが会長を務め、主として保体部員さんに集まっていただき、市や本校の健康状態について協議しました。関係機関として、市こども未来課から岸本祥子さん・石橋幸さんにご来校いただき、２年生対象として「親子で生活習慣病予防教室」を実施し、その後の協議にも参加していただきました。

授業の内容としては、

○「睡眠」は大切ー脳を休ませるため
○「寝る子は育つ」「寝ない子は太る」
○朝からカーテンを開け陽射しを取り込むなど工夫して環境を整えることで、スッキリ起きられる
○「朝ごはん」も大切ー脳にエネルギーを送るため

とても心に響くお話でした。詳しくは、12月の学年部会の折に保体部員さんより報告があります。

次年度以降も２年生で健康教室を開催していきます。

かっつぁの宝　よかとこばい㊱～岩戸山（後編）～

魚板

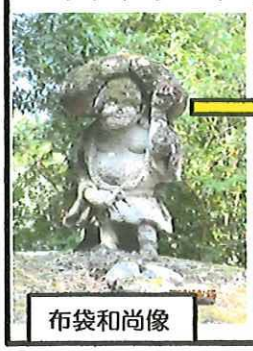
国の天然記念物に指定されている岩戸山は、円通寺を開いた大智禅師が、晩年に座禅三昧で過ごした場所です。山道入口には、大智禅師の詩が刻まれています。

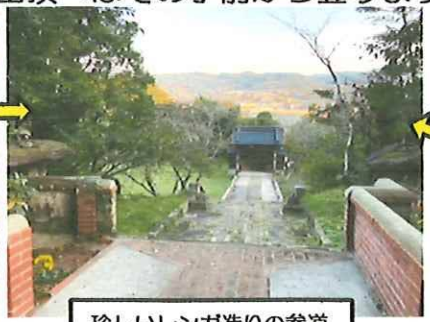
キリスト教隆盛期（1580年頃）に建物は破壊され、岩戸観音に隠されていた仏像も焼き払われたそうです。

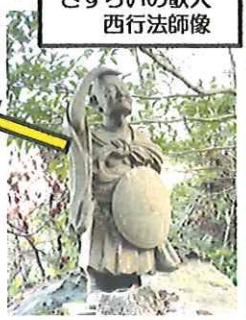
島原・天草一揆後に、再び霊山として蘇り、現在に至ります。立場が逆転し、穴観音という中腹の洞窟にキリシタンが隠れていたこともあります。稀にみる歴史です。

厳吼寺

長い階段を上り門をくぐると、レンガ造りの参道・壁が現れます。レンガが使用されている参道は珍しいです。前号で紹介した眼鏡橋から振り返ると、両サイドに石像を確認できます。「布袋和尚(江戸時代1820年作)」と「西行法師」の像です。鐘つき堂を左手に見ながら進むと、お寺がありますが、山頂へはその手前から登ります。


布袋和尚像


珍しいレンガ造りの参道


さすらいの歌人
西行法師像

加津佐小学校　学校だより№61

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年11月28日　校長：山下泰樹

ありがとうあふれる加津佐小　目標達成を祝うレク実行！

アイデア企画の運営委員

子供たち一人ひとりの「ありがとうメッセージ」を積み重ね、児童会の目標である模造紙35枚を達成！25日に達成を祝うレクリエーションが運営委員会の手で実行されました。「えがお」あふれる時間となりました。
楽しい企画をありがとう！

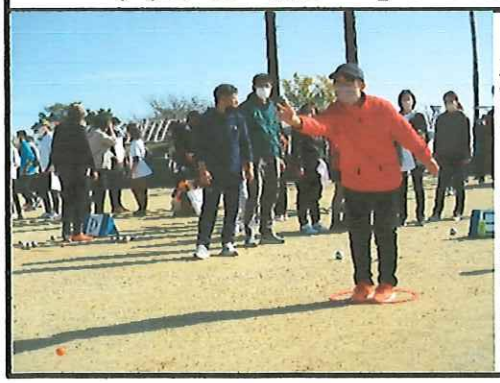
班毎にクイズを探して答えました!

ふるさと加津佐のあゆみを知るぞ！①

現役ガイドで活躍中！

「子供たちの役に立ちたい！ふるさとの良さをもっと感じてほしい。何か私にできることはありませんか？」
郷土史の第一人者であり、社会科副読本作成にも長い間尽力されてこられた松藤幸利先生（加津佐町在住）からのありがたい申し出があり、24日に６年生への授業が実現しました。岩戸山にまつわる昔話・仏教とキリスト教の争いなどについてたくさんの資料・映像を準備してくださいました。子供たちのふるさとへの愛着や誇りが深まる機会となりました。

久しぶりに　市PTAスポーツ大会が開催されました！



少しずつ日常を取り戻している昨今、南島原市PTA連合会主催のペタンク大会が、11/20有家グラウンドにて実施されました。久しぶりのスポーツ大会です。
保体部の山村あずさ部長を主将とした加津佐小チームは、投げるたびに一人ひとりのショットの精度が上がっていきました。特に、女性陣の活躍がめざましく、決勝進出の原動力となりました。決勝戦は、同点延長という接戦の末、惜しくも敗れましたが、見事準優勝に輝きました。チームワークとえがおに感謝です！

かっつぁの宝　よかとこばい㉟ ～厳吼寺(がんくうじ)の眼鏡橋～

長崎市中島川・諫早公園で有名な「眼鏡橋」ですが、小浜町金浜にもあります。国道251から見えますね。島原の殿様：松倉重政氏はここを通って小浜温泉に入っていました。しかし、「眼鏡橋」は加津佐にもあります！岩戸山厳吼寺への参道です。池や周りの木々を含め、趣があります。左は夏に撮った写真なので、秋である今はもっとステキかもしれません。
参道入口に残されている太鼓橋と併せてご覧ください。

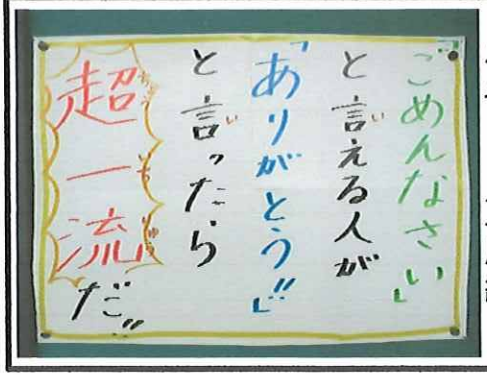
加津佐小学校　学校だよりNo.60

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年11月24日　校長：山下泰樹

素直さは　成長のもと！



11月の校長室横の掲示です。「ありがとう」あふれる加津佐小学校には、もう一つ大切な言葉があります。それは、「ごめんなさい」です。

人間は、失敗する生き物です。

「失敗は成功のもと」失敗を「しまった！」と認め、正直に経緯を伝え、素直な心で「ごめんなさい。」と反省できれば大丈夫です。ごまかさない心が、失敗を繰り返さず周りから信頼される生き方へと繋がります。「素直さは成長のもと」連携して育んでいきましょう。

ふるさとイベントもりあげ隊　再び出陣！ ～11/20ふれあい祭り～

７月に続き、「ふるさとイベントもりあげ隊」の出番です！満を持して、今回は３年生が出陣しました。学校で練習を重ね、２年生へ発表し、自芯を持って臨みました。３年生自慢の取組である群読発表もリズミカルにできました。

祭りのテーマは「夢・手づくり・ふれあい」です。最高のキーワードです。幼児から大人まで楽しめる盛りだくさんの企画に、加津佐の方々の心意気を感じました。

「祭りは、見るものではなく参加するもの」

たくさんの「えがお」と「自芯」に繋がりました。大感謝!

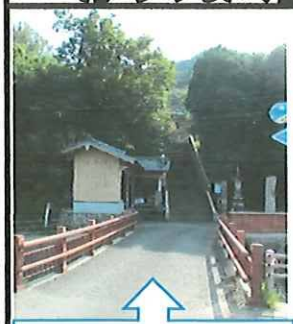
３年生のキレキレダンス！

かっつぁの宝　よかとこばい㉞　～江戸時代の太鼓橋～

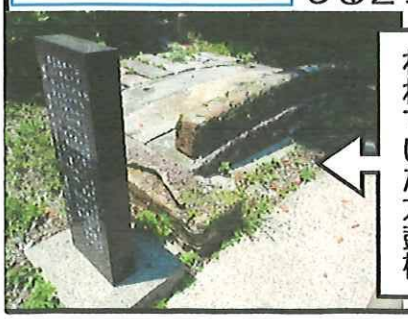
第52・55・57号で紹介した岩戸山へは、橋を渡って登ります。橋の先には、厳吼寺(がんくうじ)へ向かう階段や立派な門が見えますね。木下川の改修に伴い、2001年(平成13年)新しい橋が架けられましたが、後世に伝えるために、現在の橋の右側に石橋が保存されています。江戸時代(1750年)に架けられた見事な太鼓橋です。

同じ時期に架けられたと言われる太鼓橋が、温泉神社境内にもあります。こちらは、まだ現役です。この橋を渡らないと拝殿・本殿へは行けません。

270年以上経った今でも、趣を感じる２つの太鼓橋です。



2001年に架けられた岩戸山入口への橋



二〇〇一年まで使われていた太鼓橋

「寛延」(江戸時代)と記されている橋柱

温泉神社にある太鼓橋
同じ時期に造られたらしい

加津佐小学校　学校だより№59

爽風

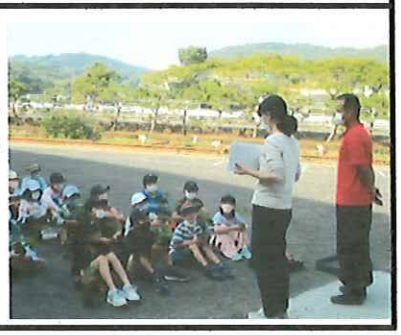
【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年11月21日　校長：山下泰樹

あま～く実ってね　イチゴさん

加津佐小では、野菜作りが盛んです。11/4、農業を営まれている唐津康宏さん・彩さんが来校され、２年生に自作の紙芝居を使って、イチゴの成長の様子や植え方・育て方について分かりやすく伝えてくださいました。その後、いただいた苗を大事そうに移植し、毎日水やりを続けています。甘く実ったイチゴを食する日が楽しみです。

唐津さんにはハウス作り等今後もお世話になります。感謝!



ふるさとへの思い　次世代への願いを受け取りました！

加津佐町の伝統芸能といえば「棒踊り」です。日露戦争凱旋を祝して踊ったのが始まりだと言われ、加津佐棒踊り保存会の皆様によって守り継がれています。

11/8に歌い手の綾部洋一さん、踊り手の森川周一さん酒井正光さん・太田晋次さん・小林進治さん・福田貴光さんから、４年生に踊りを伝授していただきました。保存・継承に対する願いや努力を知ることができ、社会科学習の良きまとめの活動となりました。大感謝です。

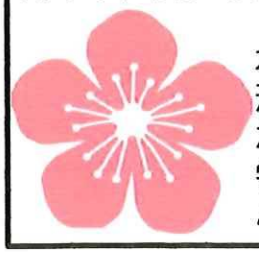
思考力を働かせ　はばたけ！ドローン

小学校では、2020年からプログラミング学習が必修化されました。IT化が進む現代社会に対応できるよう、子供たちの論理的思考力や創造性・問題解決能力を育むためです。

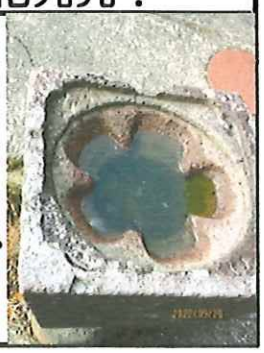
加津佐小では、2020年市より寄贈されたドローンに端末でプログラムした指令を送り、思い通りに操る活動に６年生がチャレンジしています。思考力を働かせ、グループで協力しながら次々にミッションをクリアしていました。毎年、「みなサポ」さんにご指導いただいています。大感謝です！

かっつぁの宝　よかとこばい㉝　～温泉神社で梅の花発見！～

温泉神社の境内で、「梅の花」を一年中見つけることができます。梅の木に咲いている花ではありません。



道路から入って３つ目の鳥居のそばに置いてある手水所です。なんと！水が溜まるところが「梅の花」の形をしています。野田地区の天満宮にも、同じ手水所があると温泉神社宮司：植木貴宗さんから聞きました。学問の神様：菅原道真公にまつわるものかもしれません。大宰府まで行かずとも、合格祈願ができますね。



加津佐小学校　学校だより№58

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年11月18日　校長：山下泰樹

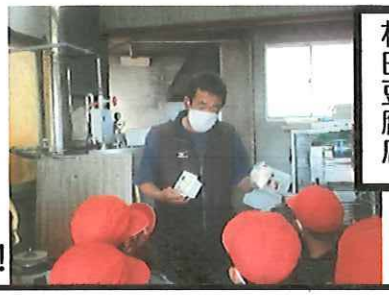
わくわくする　地域での学びに　大感謝！

酒井文具店

先日、２年生と一緒に町探検に出かけました。
２グループに分かれ、４つの場所を見学しました。そこには、真剣に話を聞き、一生懸命メモを取る姿がありました。疑問に思ったことをどんどん質問し、地域の良さを存分に感じていました。
「地域に学び
地域を愛し
地域に貢献する」
加津佐小学校では、そんな子供たちを育てています。お世話になりました。大感謝です!

加津佐公民館

もとやまストア



林田豆腐店

ありがとう！かづさっ子サポーター⑪福田美保子さん・山田美佐子さん

加津佐町主任児童委員の福田美保子さん・山田美佐子さんです。民生委員さんの核となって、町のために働いてくださっています。かづさっ子の登下校見守りなど、子供たちもたくさんお世話になっています。

加津佐町だから、安心して子育てができる。そして、たくさんのお友達ができる。
毎日、元気に学校に通い、日々、成長していく子供たちは、地域の宝です。
子育てなど、ご心配なことがあられる時は、様々な相談にも応じていますので、気軽に声をかけてくださいね！

かっつぁの宝　よかとこばい㉝　～天まで届け！ツタのつる～

先日、久しぶりに前号で紹介した「つばみ交流カフェ」でランチを食していると、６月に「ふるさと加津佐の美しい景色展」を開催していただいた井上克幸さんと出会いました。
「今、いい写真を撮ってきたよ！」
見せていただくと、真っ赤に色づいたツタの葉の写真でした。藤原商店前のJA島原雲仙倉庫の裏だと聞き、早速行って撮影してきました。
ツタのつるが勢いよく３階まで伸びていました。印刷は白黒ですが、紅葉した葉が美しく、一見の価値ありです。

加津佐小学校　学校だより№57

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年11月15日　校長：山下泰樹

自然先生から　たくさん教わりました！

諏訪の池で見つけた秋で飾りを作った一・二年生

加津佐小学校では、自然の中でたくさんの学びを実施しています。

10/27・28には、５年生が千々石少年自然の家で、アスレチック・オリエンテーリング・飯ごう炊さん・カレー作りなど「自立・協力」をテーマに、自然を満喫しました。

10/31には、１・２年生が諏訪の池ビジターセンターを訪れ、見つけた落ち葉・どんぐりでステキな飾り物を製作しました。ルールを守って自然の良さにふれました。

11/2には、３年生が、両子岩・孝子田・つばみカフェ・権田公園・一夜大師像(後日詳しく紹介予定)・前浜・赤い屋根のふるさと交流館など「かっつぁの宝よかとこ」を巡りました。案内は、がまだすドーム：東山陽次先生・ジオパーク協議会：森本拓先生(ひまわりTVにて、「恋するwalk×say」にレギュラー出演中)。それぞれの場所での説明は、地域の方々にお世話になり、ふるさとに愛着と誇りをより育むことができました。

世界ジオパークに認定されている島原半島は、世界の宝です。日本で一番最初に認定された自慢の場所です。かづさっ子は、長い年月をかけ織り成してこられた自然先生から、たくさん学ぶことができました。大感謝です！

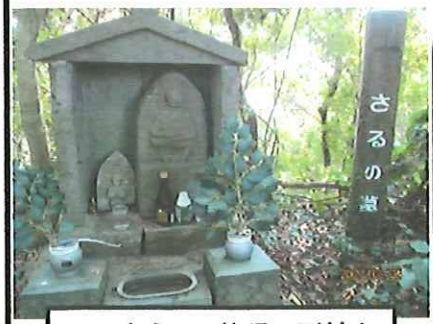
加津佐の宝を見学し、
１日楽しんだ３年生

千々石少年自然の家で
自然を味わった５年生

かっつぁの宝　よかとこばい㉜　～岩戸山・さるの墓～

皆様ご存じの「日本昔ばなし」の開拓者は、小浜町出身の関敬吾氏です。「桃太郎」「かちかち山」「舌切り雀」「こぶとりじいさん」「一寸法師」「さるかに合戦」など各地で語り継がれてきた民話を集め、世に送り出すことに尽力されました。

岩戸山に伝わる民話も、昭和61年に「日本昔ばなし」として放映されました。



入口から15分程で到着！

＜大智禅師と猿＞

昔、岩戸山にはたくさんの猿が住んでいたそうな。この岩場で毎日座禅を組む「大智禅師」に助けられた子猿は、お礼に山芋を届けては、一緒に座禅を組んでいたそうな。

その後突然亡くなった小猿のために、禅師は、ノミで石を彫って石塔を作ったそうな。それがこの写真で、「さるの墓」と呼ばれ、安産にご利益があるそうな。

「さるの墓」は、岩戸山登山の途中で見つけることができます。昔ばなしを思い出しながら対面すると格別ですね。

加津佐小学校　学校だより№56

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

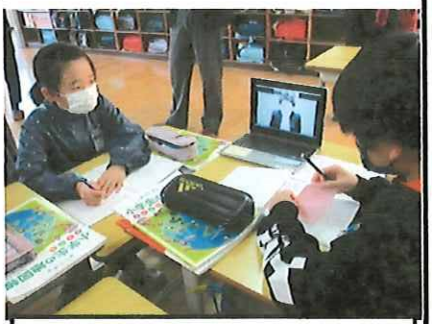
令和４年11月９日　校長：山下泰樹

タブレット端末の活用が進化しています！

加津佐小学校では、子供たちの輝く未来のために必要なICT活用の幅が広がっています。一人１台配付されているタブレット端末の活用方法は、主に「提示」「共有」「発表」「記録」「通信」です。子供たちは、個々の課題解決や目的達成のために、どんな場面でどの活用方法が望ましいのかを学んでいる最中です。

端末を操作しながら、英語で作ったクイズを出題している６年生

左は、発表ツールとして端末を活用しています。
右は、通信ツールとして端末を活用しています。この日は、島原市・五島市・長崎市の方と繋がり、教室に居ながらリモートで郷土の伝統文化について取材しました。
10日は、６年生が端末でドローンに指令を与えます。


端末で繋がり、長崎市商工会の方にリモート取材をしている４年生

高校生の雄姿を応援しました！　11/2高校駅伝

11/2高校駅伝があり、例年、男子３区走者が加津佐小中学校の前を通過します。躍動的で一生懸命走る高校生の姿は、とても爽やかで、子供たちの憧れです。かづさっ子も拍手で応援しました。次々と走者が通過する中、地元口加高校の選手には、ひときわ大きな拍手が送られていました。
駅伝のコースになっているここ加津佐は、平坦で住みやすい街だという証です。地域が楽しみにしているイベントです。

かっつぁの宝　よかとこばい㉛　～つばみ交流カフェ～

旧津波見小学校は、９年前から「つばみ交流カフェ」として生まれ変わっています。閉校前に給食に携わっていた安永シズ子さんを料理長として、地元で採れたお米・野菜を生かした美味しいランチが味わえます。私自身も、時々利用させていただいています。コロッケ・まんじゅうなど、どれも美味しいです。
２日、３年生が見学に訪れました。「加津佐の宝」であるこのカフェに何を感じたことでしょう。「何とかして校舎を残したい！活用したい！」という地域の思い、次世代への願いを知る良い機会となりました。

おいしいジャガまんじゅうとお茶ををいただきました！

交流スペース

これまでの３年生からのお礼

加津佐小学校　学校だよりNo.55

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年11月４日　校長：山下泰樹

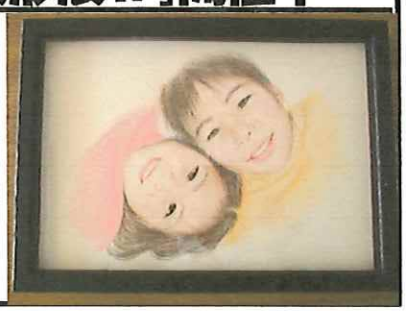
わくわくする地域での学びに感謝！

「百聞は一見に如かず」
加津佐小学校では、地域に足を運び、自らの目で見て感じ、直接ふれあうことで理解を深める学びを、地域の皆様にご支援いただきながら実施しています。

先日は、３年生が「フレッシュもとやま」を訪問し、お店の方やお客さんへインタビューしながら、個々の疑問を解決していきました。
地域の皆様に大感謝です！

11月は「色えんぴつアート展」「紙粘土人形展Ⅱ」開催中

本校の「心の相談員」円口恵先生は、学生時代から創作活動に取り組まれていました。毎年、卒業生の似顔絵を記念にプレゼントしていただいています。
そんな円口先生がこれまでに描かれた作品を展示中です。髪の毛１本１本までこだわった究極の色鉛筆画です。
雲仙館：林田裕子さんの紙粘土人形作品も入れ替えています。地域の皆様、いつでもご来校・ご鑑賞ください。



かっつぁの宝　よかとこばい㉚　～岩戸山山頂の像と カニ～

9月、国の天然記念物「岩戸山」に登ってみました。赴任した２年前から登りたかったのですが、天候に左右され、タイミングを逃していたのです。
山頂までは20分程。これまで何度か紹介してきた円通寺を開いた大智禅師（だいちぜんし）」の石像がありました。この場所で毎日座禅を組んでいたそうです。
標高96mの山頂から見る景色は、それは見事でした。野田浜・前浜・女島・愛宕山が織り成す絶景は、加津佐の宝であることを再認識しました。

マリンスポーツや砂遊び・波止場で釣りを楽しんでいる方々も見え、「ここ加津佐は、誰もが住みたくなるステキな場所だ！」と改めて思いました。
山頂付近で「アカテガニ」を見つけました。こんなに高い所に生息していることに驚きました。調べてみると、陸でも生活できるよう進化した生き物だそうです。森に住むことでセミなどの餌を独り占めできるからです。
２年前の台風被害で、歴史の証人「穴観音」への道が封鎖され、見ることができず残念でした。
「あとじゃできねんだよ。今のことは今しかできぬ。」という言葉を痛感しました。

加津佐小学校　学校だより№54

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年11月２日　校長：山下泰樹

ふるさとの宝を守り　地球に優しい活動に取り組みました！

10/28、第47号で紹介した前浜海水浴場を守る地域貢献活動に６年生が取り組みました。B&G海洋センター職員：小関あゆさんから、プラスチック製品等による「海洋ごみ問題」について説明を受けた後、小田英夫さん(B&G)・中尾春菜さん(市スポーツ協会)と一緒に砂浜のごみ拾いをスタート！驚くべきことに、砂浜にはほとんどごみが見当たりませんでした。きれいな砂浜が加津佐の宝であることを再認識させられました。松林に入ってみると、たくさんのごみが見つかり、袋に集めることができました。

その後は、海洋ごみとして漂着するペットボトルキャップを使って、家族へプレゼントするアクセサリーを作りました。ごみに生命を吹き込むステキな活動です。ご支援いただいたB&G職員の皆様に大感謝です！今後も、連携を継続していきます。

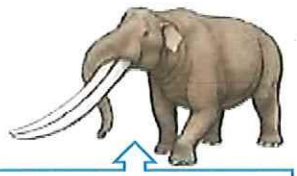
海洋ごみ回収

アクセサリー作り

家族へのプレゼント完成！

かっつぁの宝　よかとこばい㉙　～大昔のゾウの化石～

1965年（今から57年前）津波見海岸で古代生物の化石が見つかりました。その化石をいつでも見ることができます。


ステゴドンゾウ

なぜかというと、加津佐公民館２Fのロビーに実物が展示されているからです。

ステゴドンゾウは、約150万年～75万年前、日本列島に栄え、島原半島にも生息していました。脚は短く、ずんぐり型で、長い牙をもっています。その長い牙（90㎝）が展示さ　れているのです。ぜひ、お子様と一緒に、公民館を覗かれてください。

ステゴドンゾウの牙

他にも「シカ」「ワニ」「カメ」などの動物、「松」「ブナ」「センダン」などの植物、「エイ」「ウニ」「マス（魚）」「二枚貝」など海の生物の化石が見つかっています。

津波見海岸で見つかった「葉っぱ」の化石は、理科室にもありますが、中央玄関に展示している１億年前と比較してみると、同じ砂岩でも色・堅さが全く異なります。長い歳月が成す自然のパワーを感じます。

中央玄関に両方を展示していますので、来校されるときに、「見て　さわって」確かめてください。

学校にある葉っぱの化石